

鳥取大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム

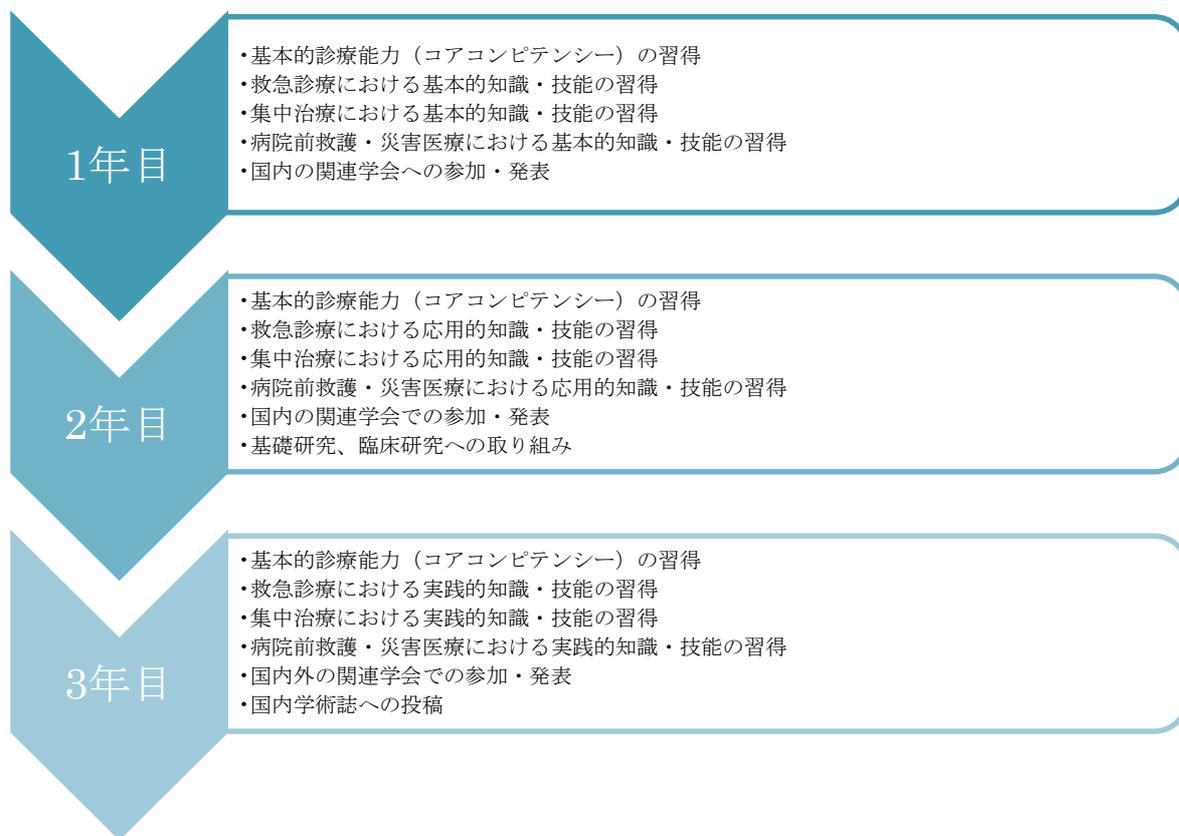
● 概要：

2年間の初期臨床研修を修了した後に、救急科専門医取得に向けて3年間の研修を行います。

本プログラムは、地域に根付いた医療を背景に、地域救急医療の中心的役割を果たす人材を養成することを目標としています。また、単に臨床の知識・技能を身につけるにとどまらず、多くの職種と連携し地域医療の困難性を克服しつつ、生涯にわたり学ぶ心を絶えず持ち、創造的に仕事に打ち込むことが出来る人間力豊かな人材を養成することを目的としています。

● 年次毎の専門研修計画：

各年度の目標は下記の通りです。なお、詳細は専門医研修マニュアルを参照してください。



● 研修プログラムの施設群：

専門研修連携施設

鳥取県立中央病院
鳥取県立厚生病院

専門研修施設

国立病院機構災害医療センター

専門研修地域中核病院

鳥取赤十字病院 等

● **研修スケジュール：**

コース例は下表のとおりです。3年目は、個々人の能力や適性、希望に基づいて、個別の研修内容にすることが可能です。

施設名	鳥取大学医学部附属病院／ 鳥取県立中央病院	鳥取県立 厚生病院	国立病院機構 災害医療センター	鳥取赤十字 病院	鳥取大学医学部附属病院／ 各連携施設
研修期間	12 か月	4 か月	6 か月	2 か月	12 か月
研修内容	ER・クリティカルケア・ 地域・災害・ドクヘリ・ 研究*	ER・他科 総合研修・ 地域研修	クリティカルケ ア・外傷外科・災 害医療	ER・地域 研修	ドクターヘリ・外傷診療・ 学位取得・集中治療・他科 研修など個別に対応

* 基幹施設の研修内容：ER・クリティカルケア・地域研修・災害・ドクヘリ・研究
鳥取県立中央病院の研修内容：ER・クリティカルケア・地域研修

● **専門医受験資格取得要件 等：**

研修基幹施設の研修プログラム管理委員会において、専門医認定の申請年度（専門研修3年終了時あるいはそれ以後）に、知識・技能・態度に関わる目標の達成度を総括的に評価し総合的に修了判定を行います。修了判定には専攻医研修実績フォーマットに記載された経験すべき疾患・病態、診察・検査等、手術・処置等の全ての評価項目についての自己評価および指導医等による評価が研修カリキュラムに示す基準を満たす必要があります。

また、研修期間中に筆頭者として少なくとも1回の専門医機構研修委員会が認める救急科領域の学会で発表を行うことが必要です。また、筆頭者として少なくとも1編の論文発表を行うことも必要です。

● **本プログラムの特徴：**

- 本プログラムでは、医師としてのコンピテンスの幅を広げるために、最先端の医学・医療を理解すること及び科学的思考法を体得することを重視しています。具体的には、専門研修の期間中に臨床医学研究、社会医学研究あるいは基礎医学研究に直接・間接に触れる機会を持つことができるように配慮しています。
- 鳥取大学病院と災害医療センターではドクターカーを運行しており、指導医とともに救急現場に出動し、病院前診療を体験、研修できます。また、災害派遣やDMATを中心とした災害医療訓練を経験することにより病院外で必要とされる災害医療について学びます。
- 鳥取大学医学部附属病院ではドクターヘリコプターの基地病院化に向けて準備を進めており、平成30年1月より運用開始予定です。ドクターヘリコプターで指導医とともに救急現場に出動し、病院前診療を体験、研修も可能となる見込みです。
- 鳥取大学医学部附属病院は、集中治療領域専門研修施設かつ外傷領域専門研修施設であり、救急科専門医の集中治療専門医および外傷専門医への連続的な育成を支援します。